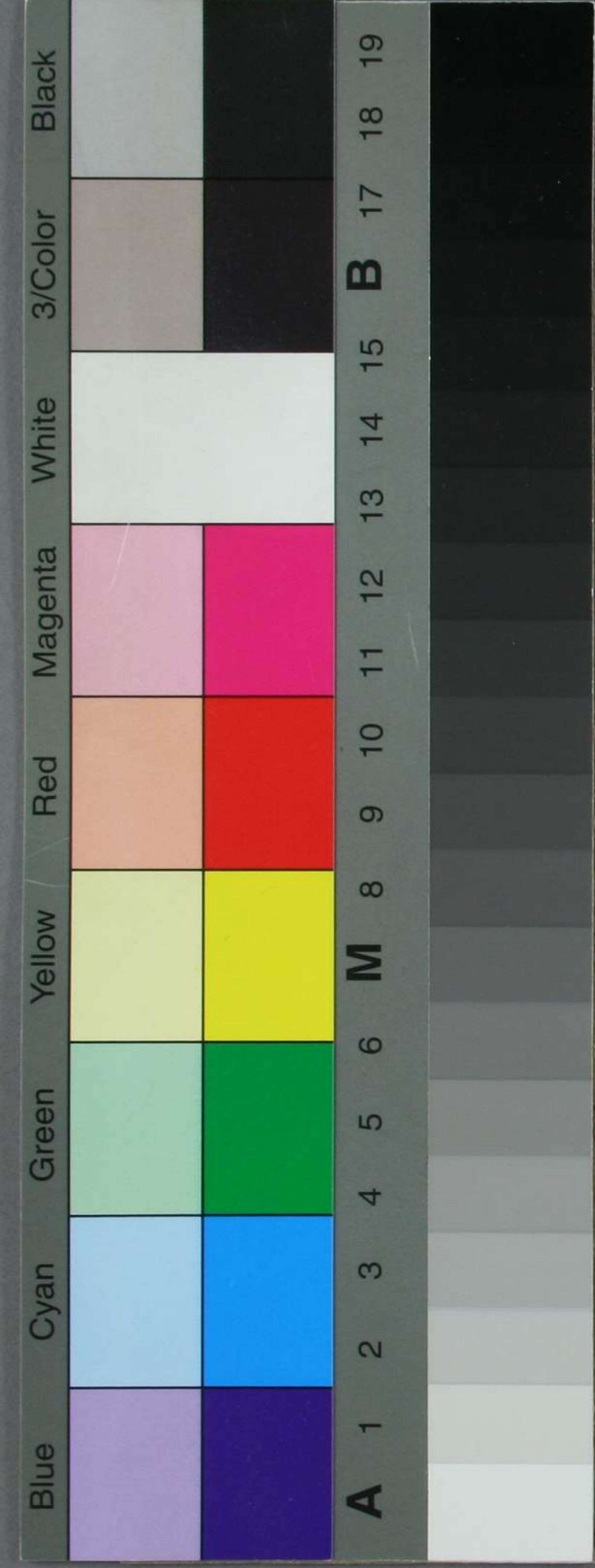




七不思議葛飾譚

芳初篇下





神
三
子

の
う
た
あ
は
れ

初編上

特
へ13
2686
1





七不思議の奇飾物語
 板書 徳島県立博物館蔵



七不思議と云物述後の元来を諏訪有鹿島有猶如々小あんなる一近辺の
 本所あり七ふり有と聞と今現見るもあり往昔の口碑に河々一柳世
 小有と有森羅万象何物九思一思議一得る事ありん悉皆不可思議あり
 且他の上措て自己身ふりて一と一知覺べき事ありや一尺の物一と一
 一尺一寸より理あり母胎内を出しより分毫も添ふる物ありて月一白く成長し
 小き物の大きくある何れは縮みき長と延と大と小とけり言をいひ手足と動
 屈伸座臥の自由ある身衣着と木偶も有と有と思と眼をみれば此一と万物
 及び一ふりて固め世と覺と一又一と一とふりて見聞は熟る物に推し
 けれども推しきと奇し物と一々明證で書と字の水の上は現るも種と
 ありぬ不可思議あり諸所の七不思議も種とありぬ
 あり其種の隠るを見つて一部の草紙とあり其種より
 拙作の室より源氏の當りて一と一と御禮とあり
 珍じくぬと賣出する初篇物胡蝶巻の劣らぬ高評
 謹て布ふらん

元治三年春正月
 柳亭自序
 國貞畫圖
 南傳馬町
 萬吉版

息長壽丸衛門



須奈蛭妖



[illegible][illegible][illegible][illegible]



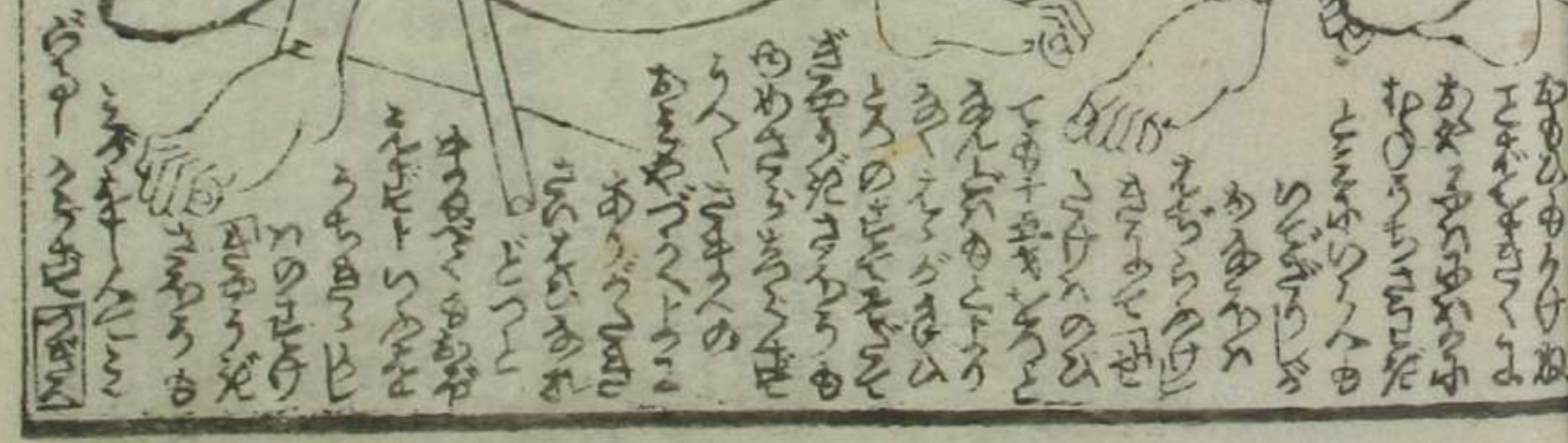
A black and white woodblock print illustration of a traditional Japanese building. The building features a tiled roof with a prominent circular decorative element (mon) on the left side. A large, stylized pine tree (matsu) is positioned in the foreground, partially obscuring the building. The scene is set against a background of a fence or wall. The style is characteristic of Edo-period Japanese art.

This woodblock print illustration depicts a traditional Japanese architectural scene. The central focus is a building with a multi-tiered tiled roof, possibly a temple or a large residence. To the right, a wooden fence or gate is visible. The foreground and background are filled with various plants, trees, and garden elements. Numerous Japanese labels are scattered throughout the image, identifying specific features. For example, labels like '庭' (garden) and '池' (pond) are visible. The style is characteristic of Edo-period woodblock prints, with bold lines and a focus on naturalistic detail.

[illegible]

○以下五丁の画に
出入きりかへのものごとくも
画と死し下の巻の有あ

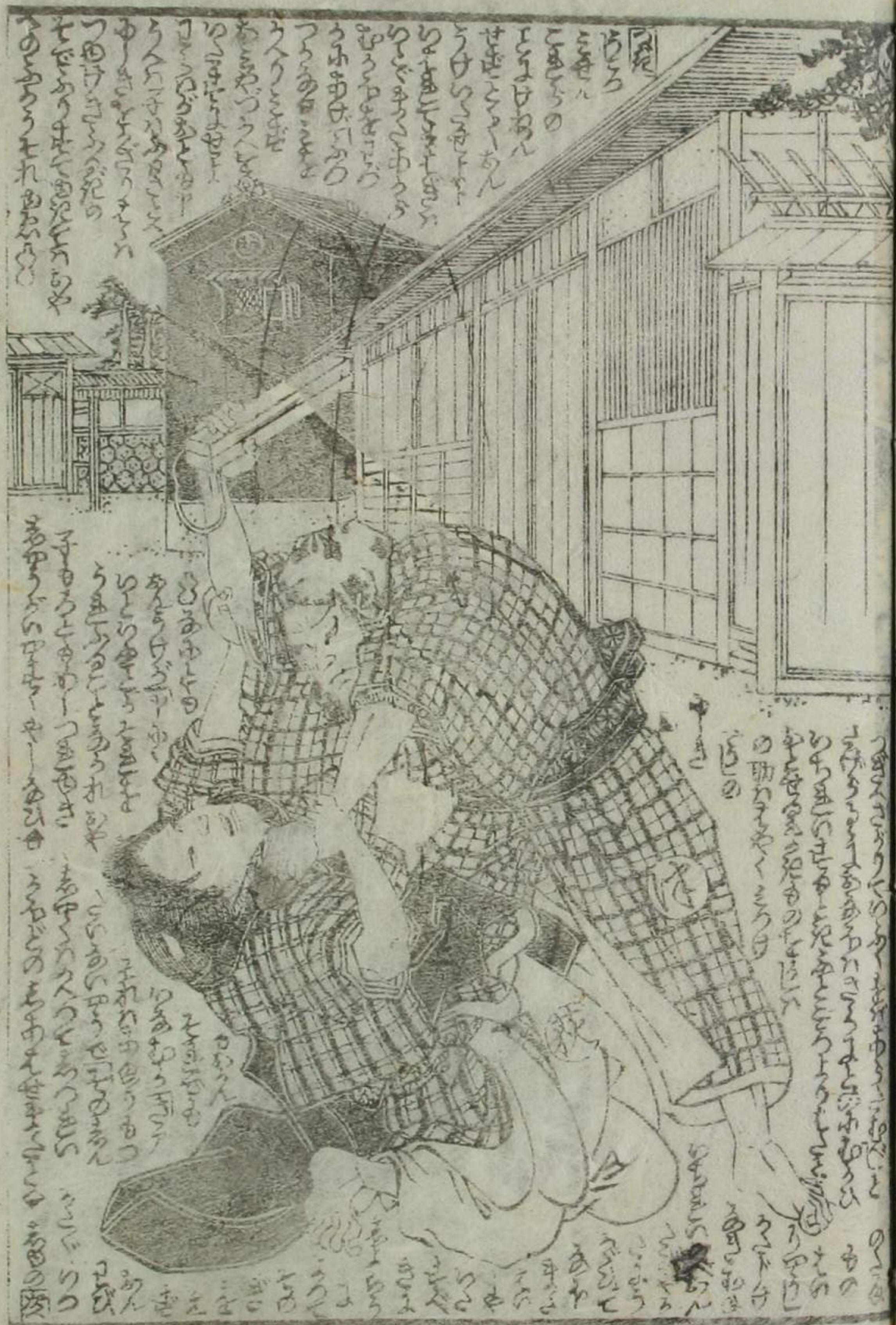
五

[illegible]

津之左馬



田舎ゆふふんこ
うきまも世屋と
ふれて建事

[illegible]

受納書

そとでん
 さまもあち
 まきつーやみ
 いしでりど
 りひつろふと
 こころよめ
 さぐりこれ
 どもしちの
 ああちうゆめをすにさく
 うせであーいおせうふはな
 あか人ゆめりるせがほそ一たん
 ふらふらふら中てわさを
 あそびてけんこれれへ下
 むゆそのさくらむの
 ゆづりえうまのい
 りたきこえをもあふ
 アナリ色々の助かりぞ
 こころひするはだぬね
 そのころものゆる
 ひやくちん
 きんぎょ
 公明神
 あらあ
 由ると

ちのりしつゝあのをいふと
 えんちんがうてこそは
 らへト四又わりの結草紙
 をのりしつゝめまじひたの
 つまむるさうにせよ
 「らんけんこの中」
 うていふものをもひ
 ころえれさうらの
 ちよちよにも
 わいの入江ある
 こまにあちのわこ
 りなまり
 ままう
 のめ
 さいふの

五つんや
さうめん
どめき
のめき
ゆめ
ゆめのこ
ゆめ
ひよ
まろ
もの
まろ
まろ
うの
うの
うの
うの
うの
うの
うの



為市罪刀



種彦作 國貞画

實母散

中興傳馬可丁日東ス 十東登岸補製

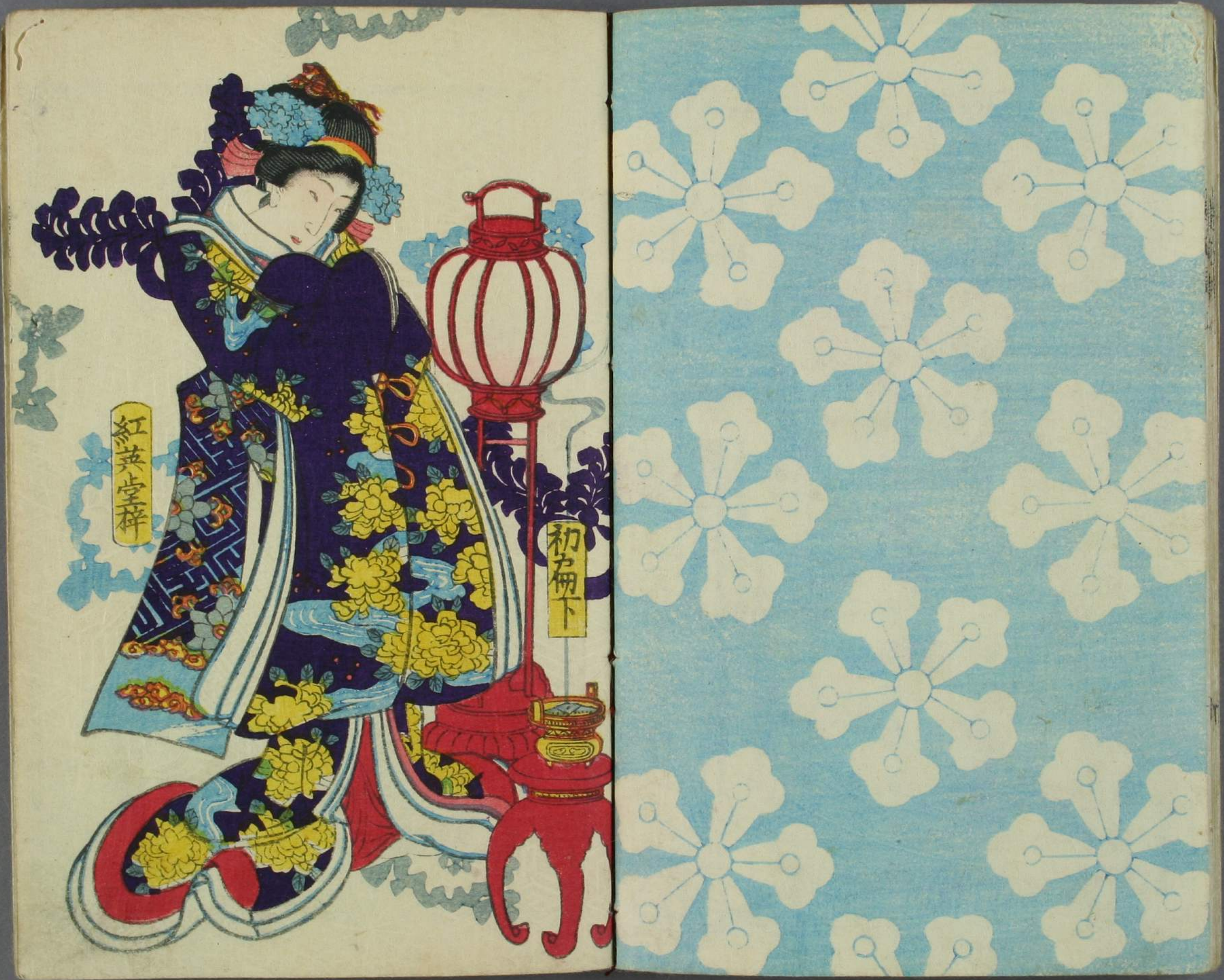
柳蔭月朝妻

山々亭有人作 九編 柳樹樓國貞画

藪黃鵠八幡不知

山々亭有人作 錦朝樓芳希画

Various smaller text blocks and annotations on the left page, including names like '山々亭' and '錦朝樓'.



紅英堂

初編下



馬場

三
子
子
子

押
帳



馬場

[illegible][illegible][illegible]





古刀



種彦作



國貞画

明治四年辛亥未陽春開板日

厚化粧の女
新局九尾傳
十三編 種彦作
十四編 國貞画

寄席の明燈巻
筆海四國聞書
十三編 種彦作
十四編 國貞画

鼠洞通夜譚
明鴨雲道通橋
十六編 種彦作
十七編 國貞画

童謡妙々集
花封苔玉章
十編 種彦作
大尾 國貞画

薄餅如日記
大傳大の双紙
十四編 種彦作
十五編 國貞画

上高き島飾譚
萬屋吉藏板
十四編 種彦作
十五編 國貞画



